

令和五年度 入学式 式辞

海の色も明るさを取り戻し、校舎へ続く坂道にも春の香りが満ちあふれた今日の良き日、穴水町長 吉村 光輝様をはじめ、多くの来賓の皆様のご臨席のもと、令和五年度石川県立穴水高等学校「入学式」を挙行できますことは、この上ない喜びであります。

心から感謝と御礼を申し上げます。

また、保護者の皆様には、本日、このようにたくましく成長されたお子様の姿に、さぞや感慨深いものがあるかと存じます。

さて、先ほど、入学を許可いたしました、穴水高校、第77期生、29名の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。穴水高校を代表し、皆さんの入学を心から歓迎いたします。

この日を迎えることができたのは、新入生の皆さんの努力の成果であることは言うまでもありませんが、これまで皆さんを、時には優しく見守り、時には厳しく指導してくださった、家族や、小学校、中学校の先生方など、多くの方々の支えがあったからです。このこともしっかりと心にとめ、「感謝の気持ち」を忘れないでください。

本校は奥能登の重要な地に位置し、奥能登の学びの府として数多くの卒業生を輩出してきました。「勤勉・良識・心身鍛練」を校訓に、創立70年を超える伝統校です。穴水高校生としての誇りと自信を持って高校生活をスタートしてください。

さて、皆さんの中学校生活は、コロナに翻弄された三年間でした。入学式直後からの臨時休業、各種大会の中止、文化祭や体育祭の縮小、実習や体験活動の制限など多くの影響を受けました。そして何よりも、マスク着用で素顔の見えない三年間でした。この4月からは、徐々にマスクなしの活動で、みなさんの笑顔を見られることをうれしく思います。思い切り、高校生活を楽しみましょう。

皆さんは義務教育を終え、今、高校生活のスタート地点に立ちました。

そんな皆さんに「幸せはいつも自分の心が決める」という言葉を贈ります。これは、相田みつをさんの言葉ですが、私の座右の銘です。

これからの皆さんには、楽しいこと辛いこと、いろいろなことが待ち受けています。

高校に入って急に勉強が難しくなって、思うようにはかどらない。成績が伸びない。部活動でも、どれだけ練習してもなかなか上達しない、結果を残せない。など幾度も壁にぶつかるかもしれません。そんなときは、「ああこれは自分を成長させてくれるためなんだ」と考えてみてください。ピンチの後にはきっとチャンスがあります。大きくジャンプするためには、しゃがまないといけません。高い目標に到達する為に、今『しゃがんで』力をつけるときなんだと考えてみてください。

また、高校で勉強と部活動を両立したいと考えている人には、毎日の生活が忙しく、時間がいくらあっても足りないと思うことがあるでしょう。そんなときは、「忙しいなあ、辛いなあ」と思うのではなく、「充実してるなあ、楽しいなあ」と考えてみてください。

今の自分に与えられた環境をどうとらえるかは、自分自身の心次第で変わります。「幸せはいつも

自分の心が決める」のです。

皆さんのこれからの高校生活を、我々はいつも応援していきますので、失敗しても、何度も乗り越え、成功体験を積み重ねて、大きく成長して行ってください。

結びになりますが、保護者の皆様、本日は誠におめでとうございます。本校は、今日から 29 名の新入生の皆さんをお預かりします。これから三年間、教職員一同、皆様と共に、子どもたちとその未来のために、力を尽くしていくことをお約束し、式辞といたします。

令和5年4月10日

石川県立穴水高等学校

校長 島崎 康一